

シンポジウム 保健医療における費用対効果の 評価方法と活用

**参加者
募集**

日時：2013年11月19日（火）13:30-17:00
場所：国立保健医療科学院
参加費無料（要事前申し込み）

保健医療施策のための財源が限られている中、費用対効果の高い事業実施が求められている。本シンポジウムでは、保健医療の費用対効果の評価手法、評価事例および結果の活用の可能性と課題について議論する。

プログラム：

13:30 開会あいさつ

松谷有希雄（国立保健医療科学院 院長）

13:35 第1部 費用対効果の評価方法：

座長

緒方裕光（国立保健医療科学院 研究情報支援研究センター）

- ・医療経済評価手法の概要 **福田 敬（国立保健医療科学院 研究情報支援研究センター）**
- ・医療経済評価ガイドライン案 **白岩 健（国立保健医療科学院 研究情報支援研究センター）**
- ・医薬品の経済評価事例と活用の可能性 **五十嵐中（東京大学大学院薬学系研究科）**
- ・保健事業の経済評価事例と活用の可能性 **池田俊也（国際医療福祉大学薬学部）**

<休憩>

15:35 第2部 費用対効果の活用方法：

座長

福田 敬（国立保健医療科学院 研究情報支援研究センター）

- ・政策における費用対効果評価の活用 **厚生労働省 <予定>**
- ・中医協における費用対効果評価活用の議論 **関原健夫（日本対がん協会）**
- ・地方行政における費用対効果評価の活用 **地方自治体職員 <予定>**

16:35 総合討論



◆お申し込み◆

お申し込みは下記のホームページから

<http://www.niph.go.jp/>

◆お問い合わせ◆

国立保健医療科学院総務部研修・業務課

埼玉県和光市南2-3-6

tel 048-458-6185